

(仮称)

北鳥山

七丁目

緑地

づくり
ニュース

第5号

令和6年12月発行

発行者

世田谷区
みどり33推進担当部
公園整備利活用推進課

(仮称) 北鳥山七丁目緑地づくりワークショップ第2回が終了しました



第2回ワークショップ実施概要

日にち 令和6年10月6日(日)

時間 10:00~12:30

参加者 30名

会場 日本女子体育大学

主なプログラム

- ・(仮称)北鳥山七丁目緑地事業について
- ・緑地の将来像や求める機能について
- ・グループディスカッションと発表

第2回ワークショップでは、区からの緑地づくりの情報提供のほか、6つのグループに分かれて、緑地の将来像や求める機能について、ディスカッションしました。詳細は裏面をご覧ください。

(仮称)北鳥山七丁目緑地づくり 第3回ワークショップ参加者募集

第1回

緑地のことを知ろう 終了しました
令和6年7月28日(日) 10時~12時30分

第2回

緑地の将来像を考えよう
令和6年10月6日(日)10時~12時30分
ワークショップ当日の内容は中面をご覧ください

第3回

緑地の基本的な方針を考えよう
令和7年1月19日(日)10時~12時30分

今回募集

申込み

電話、FAX、電子申請にて

先着50名

電話:03-6432-7903

FAX:03-6432-7989

公園整備利活用推進課



申込期間 12/28(土)~1/5(日)は電子申請のみ受け付けます

12月19日(木)~1月10日(金)

参加にあたり配慮が必要な方は、お申込みの際にご相談ください。締切 1/8(水)

ひととき保育(託児)

事前のお申込みが必要です。お預かり出来るお子さんは、生後5か月以上の未就学児先着5名までです。申込み締切:1/8(水)(無料)

会場

日本女子体育大学本館1階 E101教室

世田谷区北鳥山8-19-1 第1回・第2回と同じ会場です。

※徒歩またはバスでお越しください。

出前展示を開催します!

1月19日(日)13時30分~15時30分 場所:鳥山区民センター前広場

(仮称)北鳥山七丁目緑地づくりの取組みをパネルにて紹介します。雨天時は23日(木)に延期します。

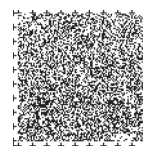
お問い合わせ先

緑地の計画について | 世田谷区みどり33推進担当部公園整備利活用推進課 公園整備利活用推進担当
電話03-6432-7903 FAX03-6432-7989

区道の計画について | 世田谷区鳥山総合支所街づくり課 街づくり担当
電話03-3326-9618 FAX03-3326-6159



区HP



グループ ディスカッション

「緑地の将来像を考えよう」

「こんな緑地であってほしい」「緑地でこんなことができるといいな」といったアイデアを活発に話し合いました。主な意見をご紹介します。

緑地の将来像に関すること

■生きものが過ごせる

- ・ 人の出入りができるようになると、生きものがいなくならないか心配。生きものの環境を壊さない緑地にしたい。
- ・ 生物多様性を活かす。

■既存の資源を活かす

- ・ 現状の自然の木を活かす。
- ・ あまり作り込まずに自然の雰囲気大切に。
- ・ 第1回ワークショップで、今の緑地のまま放っておいて良いわけでないことを知った。人の手をうまく加えて、自然と建物などの人工物が上手にコーディネートされたバランスの良い緑地になると良い。
- ・ 基本構想はとても良い。ただ自然を大切にすることと人を大切にすることと相反する要素もある。ここは自然を最優先した場所にしてほしい。

■自然の中での活動ができる

- ・ たまに読書する、緑に癒やされるなど緑地でゆっくり過ごしてみたい。
- ・ 何をするではないが、のんびり自然を感じることができるとうれしい。

- ・ 自然を活かしたいが、遊具広場や運動広場もほしい。バランスを取った配置が必要だ。



■だれもが使いやすい・訪れやすい

- ・ 保育園や小学校などが散歩や遠足に来られる、かつ高齢者が立ち寄れるような場所にする。

■安全に過ごせる

- ・ トイレはないと困る。安全を確保できる所につくる。
- ・ 日本女子体育大学バス停前の歩道は、ラッシュ時は人があふれて通れないので、緑地内にバス停を設置してほしい。

■地域との調和・連携

- ・ 地域密着型のこの地域ならではの拠点運営の方法を探りたい。



緑地でやってみたい活動や過ごし方

■自然観察・体験・学習

- ・ 自然そのものにふれたり、子どもたち自身が発見できるプログラムをする。
- ・ どんぐりひろいやタケノコ掘りを子どもと大人が一緒に体験できる。
- ・ 水辺があると鳥の水浴びや水辺にくる生きものの観察もでき、生きものにも水辺は重要だ。
- ・ ビジターセンターをつくり、シアターや写真展示。
- ・ 池がほしい。観察したい。トンボやチョウがたくさんくるところになってほしい。

■身体を動かせる

- ・ 朝の体操会や朝のランニング会、アウトドアヨガ

■交流できる

- ・ 知り合いでない人とも会話が生まれる。
- ・ 地域の祭りやイベント。設備は仮設でよい。

■飲食できる

- ・ 子どもが緑地で遊んだあと、緑地内で親子で食事や休憩できる場所がほしい。
- ・ 屋外だけでなく、緑に囲まれ屋内でお茶をしながらゆっくり過ごしたい。
- ・ 週末や休日にキッチンカーやカフェカーが来る。

■地域の人が維持管理に関わる

- ・ 地域ならではの緑地の管理方法があると思う。整備後を見据えて、今から活動をしたい。
- ・ 竹を活用したワークショップができると良い。整備前から行えば、緑地に愛着を持ち、維持管理にも繋がる。

■拠点の運営

- ・ カフェもあると良い。企業型のカフェではなく、この地域になじむカフェの運営ができると良い。